

「災害に強い社会の実現」にむけて科学技術を発展させるべく、1963年に設立された文部科学省所管の自然災害と防災に関する国立の総合研究機関です。



自然災害情報室 (NIED-DIL) は、自然災害や防災に関する資料を収集し、これらの整理・保管と情報発信を行っています。

1964年に前身の資料調査室が開設され、50年以上の歴史があります。災害資料のアーカイブと解析を行うチームと、災害資料の整理・保存を行う図書チームで構成されています。



中高生以下を対象とした自然災害、防災、地球科学に関する小説、コミック、ビデオ、かるた、紙しばい、教科書などを「防災教育コレクション」として公開しています。開館日にはいつでも閲覧可能です。自由研究や、読み聞かせの題材、学校の防災対策立案の資料として、ぜひご活用下さい。団体向けの貸出も可能です。お気軽にお問い合わせください。

◆お問い合わせ先

〒305-0006 茨城県つくば市天王台3-1 (研究交流棟2F)
TEL: 029-863-7635 E-mail: library@bosai.go.jp
Web page: <http://dil.bosai.go.jp/>
twitter: https://twitter.com/NIED_DIL
蔵書検索 (OPAC): <http://www.lib-eye.net/dil-opac/>

◆開館時間 平日 9:30-17:00

どなたでもご利用いただけます。

◆休館日 土、日、祝日、年末年始(12/29-1/3)、他
※イベント等の都合で開館日程が変更になる場合があります。

◆ご利用方法

研究所入り口の守衛所にて入構手続きをお願いいたします。

◆アクセス

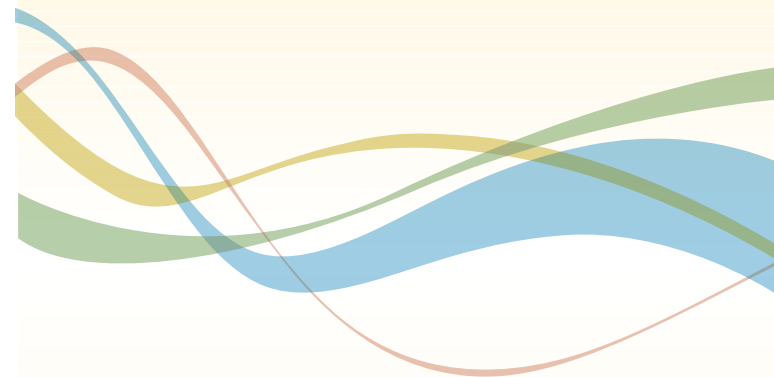
＜鉄道をご利用の方＞

つくばエクスプレス「TXつくば駅」よりバス

- つくバス北部シャトル「筑波山口」行「花畑(防災科学技術研究所)」下車
- 関東鉄道バス「テクノパーク大穂」行「防災科学技術研究所」下車徒歩5分

<車でお越しの方>

常磐鉄道「桜土浦IC」からつくば方面へ約10.5km



鬼怒川左岸 決壊地点
2015年9月10日撮影



1964年新潟地震における液状化被害

「過去の自然災害事例を防災に生かす」

災害の記録を地域の防災対策に活かすには、過去に起きた自然災害の様子や人々がたどった復興の過程を知ることが手掛かりとなります。

そのため自然災害情報室では災害資料からの過去の自然災害の被害や社会への影響を明らかにする研究を行い、得られた知見を次の災害に活かすために情報発信を行っています。

また、希少な災害資料を後世に遺すため長期的・継続的なアーカイブを行っています。



1923年関東大震災による被害の様子を伝える通信社の速報（日本電報通信社記事）

収集

1964年開設以来経験科学である災害研究に活用するため、災害資料を収集しています。また、災害発生直後にしか得られない情報を現地調査で収集しています。



当室書庫



2018年西日本豪雨における土砂災害



災害空中写真

現地資料

整理・保存

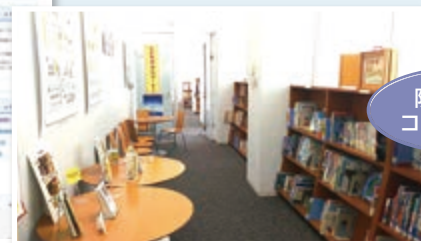
資料の利便性を高めるため、自然災害の種類と発生地域により分類、整理しています。古い資料はデジタル化を行い、貴重資料の永久保存を行っています。

デジタル化

災害に特化したメタデータ

水害地形分類図
デジタルアーカイブ

独自分類



防災教育
コレクション

提供・発信

過去の災害資料から得られた知見を解説し、web公開しています。



地域防災web



NIED-IR
機関リポジトリ

防災科研クライシス
レスポンスサイト
(NIED-CRS)

防災基礎講座

災害資料アーカイブ
機関連携ML

自然災害情報室

活動のサイクル

解析

資料から地域の防災力向上に役立つ情報を抽出するため、「災害と被害の実態」を解析。データベースを構築しています。



災害事例
データベース

新潟地震
オープンデータサイト

刊行物発行

